



母校の応援に感謝

ラグビー・兼松選手 愛教大訪問

リオ五輪7人制ラグビー女子の日本代表で

名古屋レディーズ所属

の兼松由香選手(34)が

2日、刈谷市にある母

校の愛知教育大学を訪

れ、後藤ひとみ学長に

10位だった五輪の報告

をした。

日本選手団のユニホ

ームの赤ジャケットに

白スボン姿で現れた兼

松選手は、教職員と学

生に拍手で迎えられ、

後藤学長に濃紺とピン

ク色のセカンドユニホ

後藤ひとみ学長(左)にセカンドユニホームを贈る兼松由香選手(右)刈谷市の愛知教育大で

ームを贈った。

日本代表チーム5試合中、唯一勝利した対ケニア戦で、兼松さんはトライを決めた。「メンバーがボールを次々とつなぎ、最後の私がトライし、本当にラッキーだった」と語り、試合の様様を報告。また、「五輪前のけがによる手術やリハビリで随分と苦労した時、学長に会って励まされたお陰」と感謝の言葉を述べた。

後藤学長は「世界最高の舞台でトライを成し遂げ、ご本人の財産になるとともに、大学や在校生にとっても大変な励みになった。重いけがの苦難を乗り越え、一段と立派な選手に成長された」とたたえた。【安間教雄】